

製品安全データシート

文書 ID: SD-KPASO-080908J

作成日: 2008 年 8 月 29 日

改訂日: 2008 年 9 月 8 日

1. 製品及び会社情報

製品名:	抗酸化能測定キット PAO-SO
製品コード:	KPA-050SO
構成試薬:	標準物質 エタノール試薬 サンプル希釈液 Cu 試薬 反応停止液
会社名:	日研ザイル株式会社
住所:	静岡県袋井市春岡 710-1
担当部門:	日本老化制御研究所 キット試薬課
電話番号:	0538-49-0125
FAX 番号:	0538-49-1267

2. 危険有害性の要約

成分(危険有害性物質):	全ての構成試薬に含有 エタノール (10~100%) 構成試薬「サンプル希釈液」に含有 トルエン (3~10%) ノルマルヘキサン (20~40%) 構成試薬「Cu 試薬」に含有 硫酸銅(Ⅱ)五水和物 (0.05%以下)
--------------	--

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分2
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類対象外

	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:ガス)	区分外
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分5
	急性毒性(吸入:ミスト又は粉塵)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分1A
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	区分2
	水生環境慢性有害性	区分外

GHSラベル要素



危険有害性情報:

遺伝性疾患のおそれ
 引火性の高い液体および蒸気
 吸入すると有害のおそれ(気体, 蒸気, 粉塵, ミスト)
 重篤な眼への刺激性
 水生生物に毒性あり
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 臓器の障害
 長期または反復暴露による臓器の障害
 皮膚刺激

注意書き:

予防策

すべての安全注意および使用説明書を読み理解するまで取り扱わないこと。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 呼吸用保護具(有機ガス用フィルター付マスクなど)を着用すること。
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
 換気のよい区域でのみ使用すること。

	<p>高温物、スパーク、火気を避け、作業衣、作業靴は導電性の物を用いる。</p> <p>眼、皮膚または衣類に付けないこと。</p> <p>粉塵、ヒューム、ミストを吸入しないこと。</p> <p>取扱後はよく眼や手を洗うこと。</p> <p>環境への放出を避けること。</p>
救急対応	<p><u>吸入した場合：</u></p> <p>被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、衣服、ネクタイ、ベルトなどをゆるめ、毛布などで保温して安静にする。呼吸困難が停止している場合は、人工呼吸を行う。心臓が停止した場合は心臓マッサージを行う。速やかに医師の診断を受ける。</p> <p><u>皮膚に付着した場合：</u></p> <p>出来るだけ速く被災者を洗浄の行える場所に移し、汚染された着衣や靴等を取り除く。適温のゆるやかな流水により、15分以上洗浄する。</p> <p><u>目に入った場合：</u></p> <p>出来るだけ速く被災者を洗眼の行える場所に移す。眼瞼を指で開きながら、適温のゆるやかな流水により15分以上洗浄する。洗浄した水が被災していない側の目に入ったり、顔面に触れないよう注意する。速やかに医師の診断を受ける。</p> <p><u>飲み込んだ場合：</u></p> <p>揮発性なので吐き出させるとかえって危険が増す。直ちに医療処置を受ける。水でよく口の中を洗わせてもよい。意識がない被災者には、口から何も与えてはならない。</p>
貯蔵	<p>冷暗所にて施錠して保管すること。</p> <p>火気や熱源などの着火源から遠ざけること。</p> <p>可燃性物質、酸化性物質など混触危険物質から離して保管すること。</p>
廃棄	<p>残余物を廃棄する場合は焼却によって行い、方法はつぎのいずれかによる。</p> <p>ケイソウ土等に吸収させて開放型焼却炉で少量づつ焼却する。</p> <p>燃烧性の溶剤に溶解して焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。</p> <p>内容物や容器を廃棄する場合には、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。</p> <p><u>構成試薬「Cu 試薬」について</u></p> <p>当該物質を水、酸の溶液、または酸化して水溶液にする。この物質のサルファイド化沈殿をつくり、pHを7に調整して沈殿を完全にす。不溶物をろ過し、危険物処理場で処理する。</p>

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：	混合物
<u>全ての構成試薬に含まれる成分</u>	
化学名(危険有害物質)：	エタノール
分子式：	CH ₃ CH ₂ OH

分子量： 46.1
官報公示整理番号： (2)-202
CAS No. 64-17-5
含有量： 10～100%

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分

化学名(危険有害物質)： トルエン
分子式： C_7H_8
示性式： $C_6H_5CH_3$
分子量： 92.14
官報公示整理番号： (3)-2
CAS No. 108-88-3
含有量： 3～10%

※原体毒物及び劇物取締法 劇物に該当するが、製剤に関しては法の適用外。

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分

化学名： ノルマルヘキサン
一般名： ヘキサン
分子式： C_6H_{14}
示性式： $CH_3(CH_2)_4CH_3$
分子量： 86.18
官報公示整理番号： (2)-6
CAS No. 110-54-3
含有量： 20～40%

構成試薬「Cu 試薬」に含まれる成分

化学名： 硫酸銅(Ⅱ)五水和物
分子式： $CuO_4S \cdot 5H_2O$
示性式： $CuSO_4 \cdot 5H_2O$
分子量： 249.69
官報公示整理番号： (1)-300
CAS No. 7758-99-8(五水和物)
含有量： 0.05%以下

※労働安全衛生法 名称等を通知すべき物質に該当するが、含有濃度が0.1%未満(労働安全衛生規則 第34条の2に該当)のため法の対象外。

※毒物及び劇物取締法 劇物に該当するが、製剤中の濃度(0.05%以下)では毒物劇物の判定基準以下。

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、衣服、ネクタイ、ベルトなどをゆるめ、毛布などで保温して安静にする。呼吸困難が停止している場合は、人工呼吸

	を行う。心臓が停止した場合は心臓マッサージを行う。速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	出来るだけ速く被災者を洗浄の行える場所に移し、汚染された着衣や靴等を取り除く。適温のゆるやかな流水により、15分以上洗浄する。
目に入った場合：	出来るだけ速く被災者を洗眼の行える場所に移す。眼瞼を指で開きながら、適温のゆるやかな流水により15分以上洗浄する。洗浄した水が被災していない側の目に入ったり、顔面に触れないよう注意する。速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	揮発性なので吐き出させるとかえって危険が増す。直ちに医療処置を受ける。水でよく口の中を洗わせてもよい。意識がない被災者には、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：	粉末消火剤、水溶性液用泡消火薬剤、二酸化炭素。
使ってはならない消火剤：	棒状水。
特定の危険有害性：	濃度条件によっては、爆発の危険性あり。高濃度の場所では有機溶剤中毒の恐れがある。燃焼したとき多量の黒煙を発生する。生成ガス中には、有害な一酸化炭素などが含有される。
特定の消火方法：	火災場所周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器を用いる。周囲の施設には、散水して冷却する。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
消火を行う者の保護：	消火作業の際には必ず呼吸用保護具(給気式呼吸用保護具など)を用い、できるだけ風上から行き、蒸気、燃焼ガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	漏出場所の周辺にロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。着火源を取り除く。作業の際は保護具(有機ガス用フィルター付マスクなど)を着用する。風上から作業をし、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項：	環境中大気、水域、土壌などに放出しない。
回収、中和：	少量の場合、漏洩した液は土砂などに吸収させて密閉可能な空容器に回収する。この時、火花を発生しない安全なシャベル等を使用する。多量の場合、漏洩した液は土砂等でその流れを止め、液の表面を泡(消火剤)で覆った後密閉可能な空容器にできるだけ回収し、その後少量の場合と同様の処置を行なう。
二次災害の防止策：	付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火器材を準備する。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 技術的対策	使用容器、装置等の静電気対策を行い、作業服、安全靴等は、導電性のものを用いる。取扱い場所を火気厳禁、使用する電気設備は防爆構造とする。蒸気の発生する場所には局所排気装置を設ける。容器を転倒、落下させ、衝撃を
------------	---

注意事項	加え、あるいは引きずるような取扱いをしない。適切な保護具を用い、吸入を防ぎ、眼、粘膜、皮膚との接触を避ける。取り扱い後は、手洗い、洗顔を十分に行い、また衣服に付着した場合は着替える。
安全取扱い注意事項	発散源を密封し、又は局所排気を付ける。ゴム、合成樹脂には侵されるものがあるので、機材の材質の選定に留意する。接触・吸入の恐れがあるときは保護具を着用する。作業中は飲食、喫煙をしない。
保管： 適切な保管条件	強酸化性物質との接触を避ける。 耐火設備に保管する。容器は直射日光を避け、通風の良い低温の場所に保管する。高温及び可燃物の近くに置かない。酸化性物質等の混触禁止物質と同一場所に置かない。
技術的対策	火気や熱源などの着火源から遠ざける。盗難防止のため施錠保管する。
混接禁止物質	強酸化性物質。
安全な容器包装材料	天然ゴムはヘキサンにより膨潤する。また、ヘキサンは多くのプラスチックを侵すおそれがあるので器材の材質に留意する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：	屋内作業場では、発生源の密閉、局所排気装置又は全体排気装置を施置する。取扱い場所の近くに、洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明示する。安全管理のため状況に応じて、ガス検知器等を整備する。
-------	--

全ての構成試薬に共通する成分(エタノール)について、以下の情報が報告されている。

管理濃度：	設定されていない。
許容濃度：	日本産業衛生学会(2001年版) 設定されていない。 ACGIH(2000年版) TWA(時間加重平均) 1000 ppm、1880 mg/m ³ A4

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分(トルエン)について、以下の情報が報告されている。

管理濃度：	40 ppm
許容濃度：	日本産業衛生学会許容濃度(2001年版) 50 ppm(188mg/m ³) (皮) ACGIH(2001年版) TWA(時間加重平均) 50 ppm (Skin) A4

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分(ヘキサン)について、以下の情報が報告されている。

管理濃度：	50 ppm
許容濃度：	日本産業衛生学会(2001年版) 40ppm (皮) ACGIH(2001年版) TWA(時間加重平均) 50ppm (Skin)

構成試薬「Cu 試薬」に含まれる成分(硫酸銅(Ⅱ)五水和物)について、以下の情報が報告されている。

管理濃度：	情報なし。
許容濃度：	ACGIH(98年)TLV-TWA 1 mg / m ³ (粉じん及びミスト、Cuとして) 日本産業衛生学会勧告値(98年)： 設定されていない。

保護具：	呼吸器用の保護具	防毒マスク(有機ガス用)、濃度の高い場合は、送気マスク又は空気呼吸器
	手の保護具	耐溶剤性のある防護手袋を使用する。
	目の保護具	保護眼鏡、ゴーグル又は防災面。
	皮膚及び身体の保護具	長靴、耐油性(不浸透性・静電気防止対策用)前掛け、 防護服(静電気防止対策用)等
適切な衛生対策：		保護具は使用後清浄にして清潔に保ち、マスクの吸収缶は、破過時間を考慮して定期的に交換する。 作業中は飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

全ての構成試薬に共通する主成分であるエタノールについて記載する。

形状：	液体	
色：	無色透明	
臭い：	特徴的な臭気	
pH：	データなし	
沸点、初留点と沸騰範囲	79°C	
引火点	13°C	
燃焼または爆発範囲の上限、下限	上限 19 %、下限 3%	
蒸気圧	5.8 KPa(20°C)	
蒸気密度	1.6(空気=1)	
比重	0.8(20°C)	
溶解度	溶媒に対する溶解性	水と混和する。
オクタノール/水分配係数	-0.32	
自然発火温度	363°C	
分解温度	データなし	

10. 安定性及び反応性

安定性	蒸気は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動し、かなり遠くの低所に滞留し爆発性混合気を作りやすい。流動、攪拌などにより静電気が発生し、引火爆発の危険性がある。気温が0°C前後より低いほうが爆発性混合気体を生じやすい。
危険有害反応可能性	空気中で爆発性過酸化物を生成する事がある。次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。硝酸、硝酸銀、硫酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災と爆発の危険をもたらす。ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。 <u>構成試薬「Cu 試薬」について：</u> 燃焼により刺激性又は有毒なガス(亜硫酸ガス)を発生する。
避けるべき条件	高温への暴露及び、強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアなどとの接触。

混触危険物質

酸化剤等との接触に注意する。

危険有害な分解生成物

一酸化炭素。

11. 有害性情報

全ての構成試薬に共通する成分(エタノール)について、以下の情報が報告されている。

急性毒性:	吸入	マウス	LC ₅₀	39g/m ³ /4H	
	吸入	ラット	LC ₅₀	20000ppm/10H	
	経口	マウス	LD ₅₀	3450mg/kg	
	経口	ラット	LD ₅₀	7060mg/kg	
	経口	ラット	LD ₅₀	9000mg/kg	
皮膚腐食性・刺激性:	皮膚刺激性	ウサギ	開放式	400mg	軽度の刺激性
	皮膚刺激性	ウサギ		20mg/24H	重度の刺激性
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	眼刺激性	ウサギ		500mg/24H	軽度の刺激性
	眼刺激性	ウサギ		500mg	重度の刺激性
	眼刺激性	ウサギ	水リンス法	100mg/4S	中等度の刺激性
呼吸器感受性または皮膚感受性:	情報なし。				
生殖細胞変異原性:	経口	マウス	LD	420 mg/kg/3W	
	経口	マウス	LD	3720 mg/kg/3D	
	経口	マウス	LD	1500 mg/kg/50D	
	経口	ラット	LD	2 gm/kg	
	経口	ラット	LD	3 gm/kg	
発がん性:	動物試験において有意になっていない。(IARC)。 ACGIH A4(発がん物質押して分類されない物質)。				
生殖毒性:	経口	ラット	TDL _o	4 gm/kg (13D preg)	
	経口	ラット	TDL _o	322 gm/kg (35D male)	
	経口	ラット	TDL _o	12 gm/kg (9-12D preg)	
	経口	ラット	TDL _o	132 gm/kg (1-22D preg)	
	経口	マウス	TDL _o	162 gm/kg (11-19D preg)	
	経口	マウス	TDL _o	21 gm/kg (1-21D preg)	
	経口	マウス	TDL _o	5800 mg/kg (7D preg)	
	経口	マウス	TDL _o	75600 mg/kg (5-11D preg)	
特定標的臓器・全身毒性・単回暴露:	情報なし。				
特定標的臓器・全身毒性・反復暴露:	長期毒性:多くの動物試験情報あり。				
吸引性呼吸器有害性:	情報なし。				

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分(トルエン)について以下の情報が報告されている。

急性毒性:	吸入	8時間の一回暴露では、濃度 50ppm で眠気と頭痛、100ppm で疲労感、200ppm で眼や喉の刺激感、不眠、協調運動失調などの自覚症状が現れる。著しい高濃度では麻酔状態に陥り意識を喪失して死亡することがある。シンナー遊びによる死亡や障害の例が多く報告されている。
-------	----	---

30 分間以上暴露すると危険な濃度(IDLH):500 ppm

皮膚吸収性:吸収されたときは吸入と類似の作用を呈する。

吸入	マウス	LC ₅₀	400 ppm/24H
吸入	ラット	LC ₅₀	49 g/m ³ /4H
吸入	マウス	LC ₅₀	30000 mg/m ³ /2H
吸入	マウス	LC ₅₀	19900 mg/m ³ /7H
吸入	マウス	LC ₅₀	10000 mg/m ³
経口	ラット	LD ⁵⁰	636 mg/kg
経皮	ウサギ	LD ⁵⁰	14,100 μL/kg

皮膚腐食性・刺激性: 皮膚に対して弱い刺激性がある。繰返しの接触により脱脂症状を生ずる。

皮膚	ウサギ	435 mg	軽度の刺激性
皮膚	ウサギ	500 mg	中等度の刺激性
皮膚	ウサギ	20 mg/24H	中等度の刺激性

眼に対する重篤な損傷・刺激性: 眼に対して、蒸気、液ともに中程度の刺激性がある。

眼	ウサギ	870 μg	軽度の刺激性
眼	ウサギ	2 mg/2H	重度の刺激性

呼吸器感受性または皮膚感受性: 感受性は一般的にはないとされているが、一部の作業員において感作の生じることがあるとの記載もある。

生殖細胞変異原性: 情報なし。

発がん性: NTP の行ったラット、マウスを用いた生涯吸入試験(濃度 1,200ppm)において発がん作用は認められなかった。その他においても、トルエンに発がん性があるとの証拠は得られていない。

生殖毒性: 動物実験において、胎子の死亡率が増加するなどの影響が認められたという報告が数件ある。シンナー遊びなどの暴露により、ヒトの胎児に障害の認められたことが報告されている。

特定標的臓器・全身毒性・単回暴露: 情報なし。

特定標的臓器・全身毒性・反復暴露: 継続暴露においては、濃度が 100ppm になると疲労感、頭痛、食欲不振が、200-500ppm で吐き気、皮膚違和感、不眠、筋力低下、協調運動失調、記憶障害がみられている。

吸引性呼吸器有害性: 情報なし。

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分(ノルマルヘキサン)について以下の情報が報告されている。

急性毒性: 吸入または皮膚吸収により末梢神経系に影響を与え、めまい、眠気、疲労、四肢の末梢の知覚異常を起こす。高濃度では麻酔性がある。ヒトでは 2,000ppm、10 分間の暴露では症状を示さないが、5,000ppm ではめまいを起こす。飲み込むと肺に吸引され、化学性肺炎を起こす危険性がある。

経口	ラット	LD ₅₀	25 g/Kg
経口	ラット	LC ₅₀	48,000ppm/4 時間
吸入	ラット	LC ₅₀	627000 mg/m ³ /3M
吸入	マウス	LC ₅₀	150000 mg/m ³ /2H

皮膚腐食性・刺激性:	情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	眼に触れると発赤、角膜障害を起こすことがある。 眼 ウサギ 10 mg 軽度の刺激性
呼吸器感受性または皮膚感受性:	情報なし。
生殖細胞変異原性:	ヒトで遺伝子損傷を起こすことがある。
発がん性:	日本産業衛生学会、IARC等で発がん性について、いずれにも分類されていない。
生殖毒性:	吸入 ラット TCLo 1000ppm/6 時間 新生児の発育遅延
特定標的臓器・全身毒性・単回暴露:	情報なし。
特定標的臓器・全身毒性・反復暴露:	反復または長期間の皮膚接触により、皮膚炎を起こすことがある。また、多発性神経炎を生じることがある。
吸引性呼吸器有害性:	情報なし。

構成試薬「Cu 試薬」に含まれる成分(硫酸銅(Ⅱ)五水和物)について以下の情報が報告されている。

急性毒性:	経口 ラット LD ₅₀ 300 mg / kg
	経皮 ラット LD ₅₀ >2g / kg
皮膚腐食性・刺激性:	情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	情報なし。
呼吸器感受性または皮膚感受性:	情報なし。
生殖細胞変異原性:	染色体異常;マウス(生体内・腹腔内);陽性 小核;マウス(生体内・腹腔内);陽性
発がん性:	情報なし。
生殖毒性:	情報なし。
特定標的臓器・全身毒性・単回暴露:	情報なし。
特定標的臓器・全身毒性・反復暴露:	情報なし。
吸引性呼吸器有害性:	情報なし。

12. 環境影響情報

生体毒性:	魚毒性	各種魚類の TLm(24,96 時間) 10-60 mg/L (トルエン) 各種甲殻類の LC 50 (96 時間) 5-30 ppm (トルエン) キンギョ 24 時間 LC ₅₀ 4mg/L (ノルマルヘキサン)
残留性・分解性:		良分解性である(トルエン・エタノール)。
生体蓄積性:		情報なし。
土壌中の移動性:		情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 適切な保護具を着用する。一酸化炭素の発生に注意しながら、スクラバーを備えた焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。低濃度の廃水は活性汚泥処理装置で処理を行う。処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

構成試薬「Cu 試薬」について:

当該物質を水、酸の溶液、または酸化して水溶液にする。この物質のサルファイド化沈殿をつくり、pHを7に調整して沈殿を完全にす。不溶物をろ過し、危険物処理場で処理する。

汚染容器及び包装： 空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

14. 輸送上の注意

全ての構成試薬に共通する主成分であるエタノールについて記載する。

国連番号： 1170
品名： エタノール
国連分類： クラス 3
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にす。
海洋汚染物質： 該当なし。

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分(トルエン)について記載する。

国連番号： 1294
品名： トルエン
国連分類： クラス 3(引火性液体 P.G 2)
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にす。
海洋汚染物質： 該当。

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分(ノルマルヘキサン)について記載する。

国連番号： 1208
品名： ヘキサン類
国連分類： クラス 3
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にす。
海洋汚染物質： 該当なし。

15. 適用法令

全ての構成試薬に共通する主成分であるエタノールについて記載する。

労働安全衛生法 第 57 条の 2 通知対象物(施行令別表第 9 第 61 号)
施行令別表 1-4、危険物・引火性の物
消防法 危険物第 4 類引火性液体 アルコール類
船舶安全法 危規則第 2、3 条危険物告示別表第 5 引火性液体類
航空法 施行規則第 194 条危険物告示別表第 1 引火性液体

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分(トルエン)について記載する。

労働安全衛生法 通知対象物(施行令別表第 9 第 405 号)

	危険物(引火性の物)
	有機則 第2種有機溶剤
消防法	第4類第1石油類(非水溶性液体)(200L)
船舶安全法	別表第5(中引火点引火性液体)
海洋汚染防止法	ばら積み運送 有害液体物質(C類)
PRTR法	第1種指定化学物質(227)

※原体毒物及び劇物取締法 劇物に該当するが、製剤に関しては法の適用外。

構成試薬「サンプル希釈液」に含まれる成分(ノルマルヘキサン)について記載する。

労働安全衛生法	通知対象物(施行令別表第9 第517号) 施行令(危険物;引火性の物) 有機溶剤中毒予防規則(第二種有機溶剤)
消防法	危険物第4類第1石油類、水溶性液体
船舶安全法	危険物船舶運送及び貯蔵規則に基づく船舶による危険物の運送基準を定める告示(引火性液体類)

構成試薬「Cu 試薬」に含まれる成分(硫酸銅(Ⅱ)五水和物)について記載する。

毒物及び劇物取締法:	第2条別表第2 劇物(無機銅塩類) ^{※1)}
労働安全衛生法 :	施行令第18条の2(名称等を通知すべき有害物) ^{※2)}
薬事法:	第44条(施行規則第52条)劇薬 第29条(施行規則第36条)指定医薬品
PRTR法:	第1種指定化学物質 No. 207

※1)毒物及び劇物取締法 劇物に該当するが、製剤中の濃度(0.05%以下)では毒物劇物の判定基準以下。

※2)労働安全衛生法 名称等を通知すべき物質に該当するが、含有濃度が0.1%未満(労働安全衛生規則 第34条の2)のため法の対象外。

16. その他の情報

本データシートの記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したのですが、全ての情報を網羅しているものではありません。記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。取扱いの際には十分注意してください。また、新たな情報を入手した場合に、記載内容が追加または訂正される場合があります。